

外陰部にプツプツができています

尖圭コンジローマは皮膚科でも治療できます

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>



1人で悩んでいないで、まずは受診しましょう

ます」



性器周辺にプツプツとヒトパピローマウイルスイボのようなものができ（HPV）6型、11型による尖圭コンジローマ。20代女性に多く、密かに悩みを抱える人も多いようです。その原因と治療法について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「どんな病気ですか？」

「尖圭コンジローマは増えたりと悪化します。

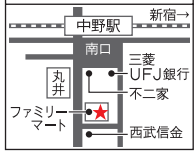
感染してからすぐ発症するわけではなく、潜伏期間は平均3カ月程度です」

「治療法は？」

「ヒトパピローマウイルスの増殖を抑えるイミキモドクリームを患部に塗ります。このほかに液体窒素や電気メスなどで気になるイボを外科的に取ることもできます。ただ、これだけだとイボが再びできやすいため、塗り薬と併用して治療することもあります。

「ヒトパピローマウイルスに感染していても発症しない人もいます。尖圭コンジローマと診断されたら、パートナーも受診することをお勧めします。尖圭コンジローマは性感染症なので女性は婦人科、男性は泌尿器科などでも対応できますが、男女とも皮膚科で治療できます」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

2019年3月9日付 「リビング東京副都心」に掲載されました